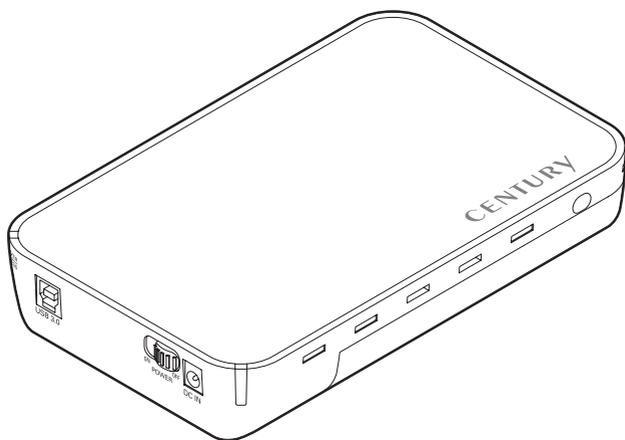


1分BOX USB3.0

COM35U3 取扱説明書



【はじめに】

このたびはCOM35U3をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

- ・ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害のない物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。



警告

■煙が出る、異臭がする、異音ができる

煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。

点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿気や水気のある場所では使用しない

台所や風呂場等の、湿気や水気のある場所では使用しないでください。機器の故障や、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因となります。



注意

■設置場所に関する注意事項

以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。

- ・ 熱、暖房器具（ストーブ、アイロン、ヒーター等）の近く。
- ・ 油煙や湯気にあたる調理台、加湿器等湿気の近く等ほこりや湿気の多い場所。
- ・ 直射日光にあたる場所。

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■ もくじ

■ はじめに	i
■ 安全上のご注意	i
■ 特長	1
■ 制限事項	1
■ ご使用の前に	1
■ 製品仕様	2
■ 製品内容	2
■ 各部の名称	2
■ 対応HDD	3
■ 対応機種	3
■ 対応OS	3
■ HDDの取り付け方法	4
■ PCとの接続方法	9
■ 電源の投入方法	9
■ スタンドの取り付け・取り外し方法	10
■ 領域の確保とフォーマット	11
・ Windows 7、Windows Vistaの場合	11
・ Windows XPの場合	16
■ ハードウェアの取り外しについて	20
■ トラブルシューティング	21
■ FAQ	22
■ サポートのご案内	23

【特長】

- シンプル&スタンダードな3.5" SATA HDDケース！
- 工具不要の簡単組み込み！^{※1}
- 高速転送5Gbps！USB3.0インターフェイス搭載！^{※2}
- USB2.0ホストでの動作も可能！^{※3}

※1：必要に応じてHDDのネジ止めも可能です。

※2：USB3.0で動作させるためにはUSB3.0ホストインターフェイスが必要になります。

また、転送速度5Gbpsは理論値であり、実際の速度とは異なります。

※3：USB2.0接続時は480Mbps（理論値）での動作になります。

【制限事項】

- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品は純粋な3.5インチシリアルATA HDD組み込み用です。変換アダプター等を使用して3.5インチシリアルATAと同等の状態にしたHDD互換品などは基本的にサポート外とさせていただきます。
- ・本製品からのOS起動はサポートしておりません。

【ご使用前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

【対応HDD】

■シリアルATA (SATA I / II) 仕様の25.4mm厚3.5インチHDD

※PATA (IDE) 仕様のHDDは接続できません。

※25.4mm以下のHDDを取り付ける際は、必ずネジ止めをしてください。

【対応機種】

- ・USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB3.0モード動作時)
- ・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB2.0モード動作時)
- ・CPUクロック2GHz/メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

※SIS7000/7001/7002. PCI to USB Host Controller搭載PCは、USB Host Controllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

■ 動作確認済みUSB3.0ホストインターフェイス

- ・センチュリー : CIF-USB3P2
- ・パッファロー : IFC-PCIE2U3
- ・ラトックシステム : REX-PEU3



USB3.0で接続する場合は、USB3.0ホストインターフェイスが必要になります。
従来のUSB2.0ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限はUSB2.0
(480Mbps)になります。

【対応OS】

- ・Windows 7 (64bit/32bit) /Windows Vista (64bit/32bit) /Windows XP (32bit SP3)

※Windows 95/Windows 98/Windows 98SE/Windows 3.x/Windows NT/Windows Me/Windows 2000では動作しません。

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

【HDDの取り付け方法】

■HDD接続の前に

- ・HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

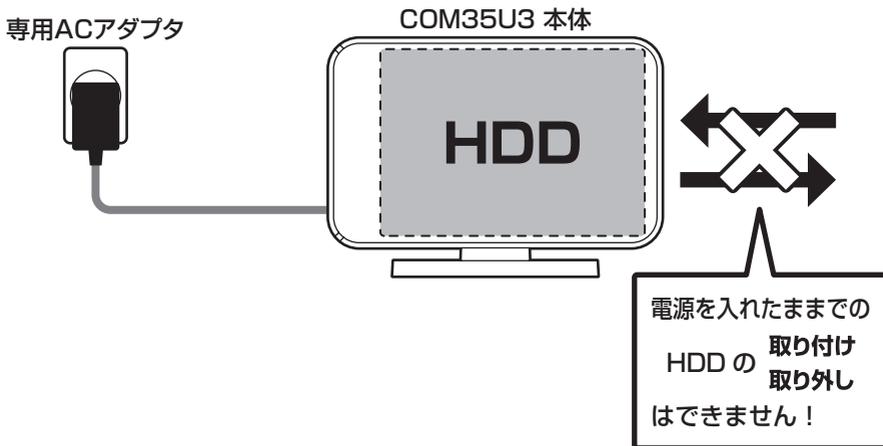
※注意

すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

⚠警告

■接続および電源投入の順序にご注意ください！！

- ・本製品はまずHDDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
 - ・本製品のための接続、または電源投入後の抜き差し（ホットスワップ）には対応しておりません。
- 上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDDの故障をまねく可能性がございます。



※本製品はシリアルATA (SATA) HDD専用です。パラレルATA (PATA) は接続できません。



注意



SATAコネクタ

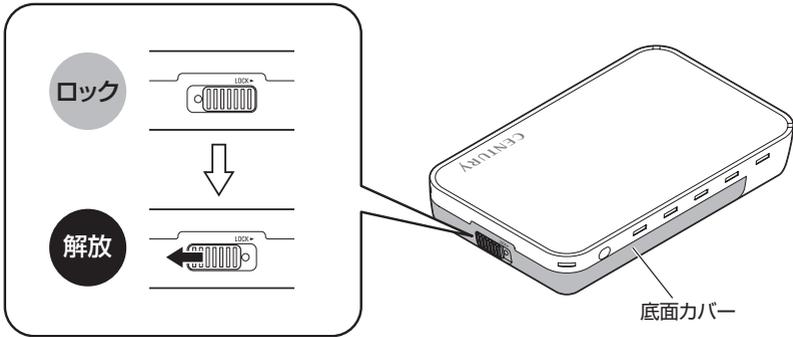


PATAコネクタ

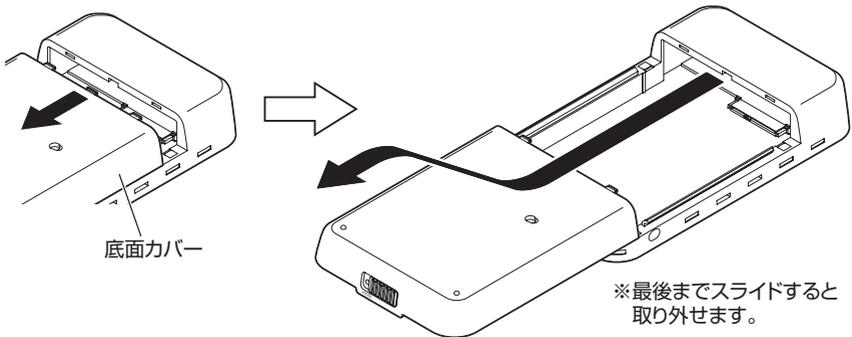
【HDDの取り付け方法】

■HDDの取り付け方

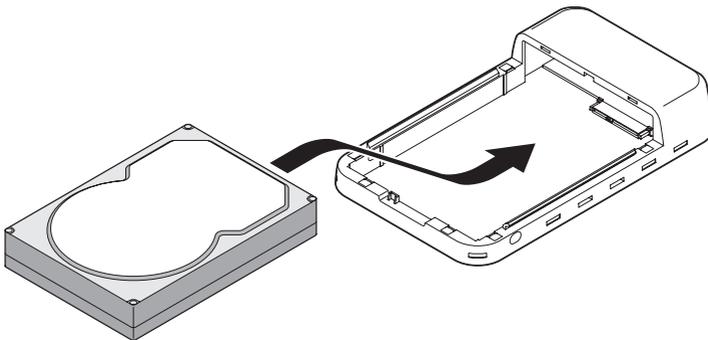
- 1：底面カバーのロックが解放（LOCK▶の反対側）の位置になっているかを確認し、本体を裏返します。
解放になっていない場合は、ロックを図の方向へスライドします。



- 2：底面カバーを手前にスライドして取り外します。



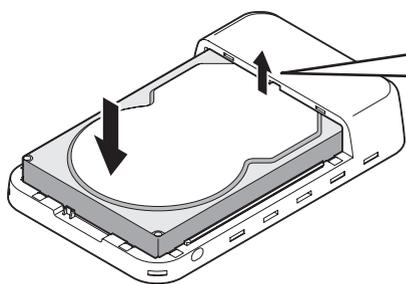
- 3：HDDを図の方向でケースに入れます。



注意

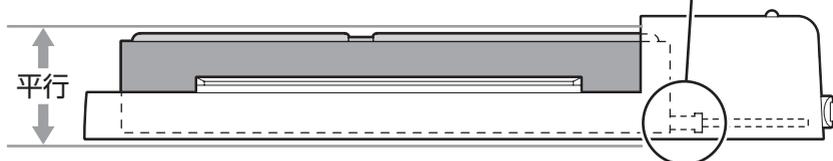
本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。
また、組み立てる際は無理な力を加えないでください。ケースやHDDが破損する恐れがあります。

4 : HDDをケースと平行にセットします。

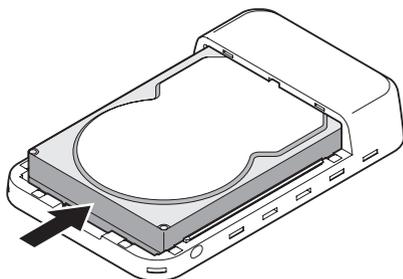


HDDの頭を少し浮かせながら入れると平行に収めやすくなります。

まだHDDは本体と接続
されていません。

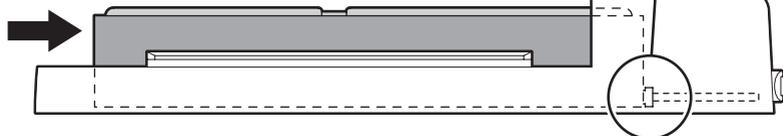


5 : HDDを本体の奥まで押し込み、本体のコネクタに接続します。



HDDが本体のコネクタに
接続されます。

押し込む

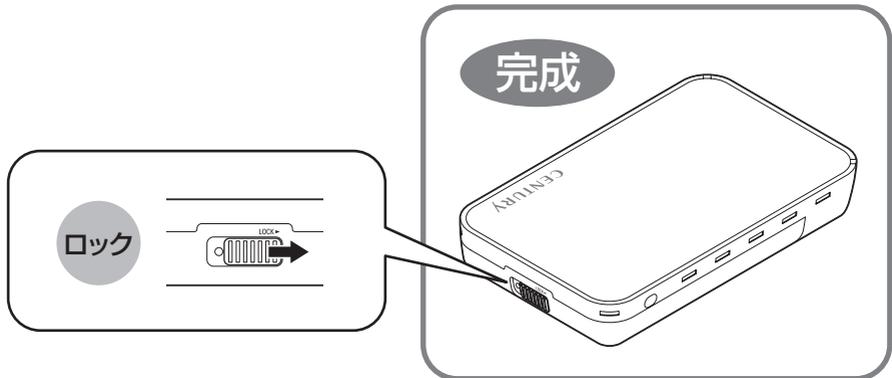
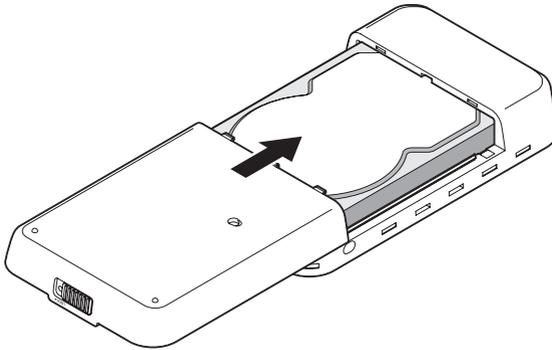


本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。
また、組み立てる際は無理な力を加えないでください。ケースやHDDが破損する恐れがあります。

【HDDの取り付け方法】

HDDの取り付け方

6：底面カバーを取り付け、ロックをすれば完成です。



※HDDを取り出す際は、逆の手順をたどってください。



注意

本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。
また、組み立てる際は無理な力を加えないでください。ケースやHDDが破損する恐れがあります。

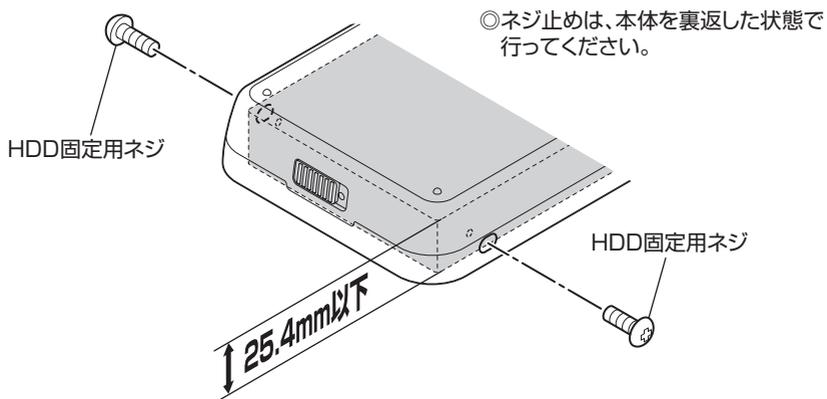
■ネジ止めについて

ネジ止めをすることで、本体とHDDをしっかりと固定することができます。

※お願い

厚さが**25.4mm以下**の薄型のHDDを組み込んだ場合は、必ずネジ止めを行ってください。

ネジ止めをしないと底面カバーのHDDおさえがHDDに届かないため、本体内部でHDDが動いてしまいます。

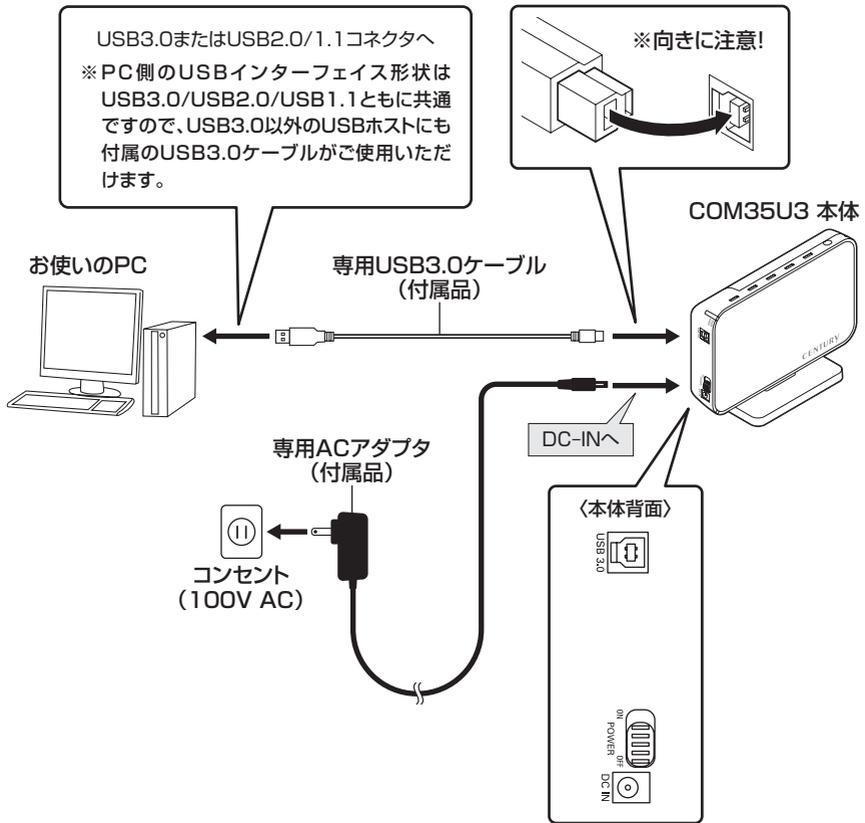


注意

本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。
また、組み立てる際は無理な力を加えないでください。ケースやHDDが破損する恐れがあります。

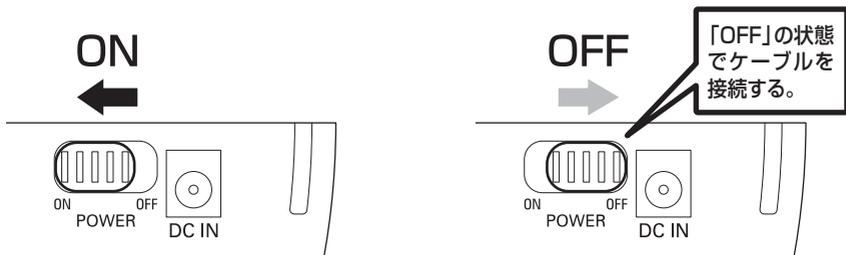
【PCとの接続方法】

専用ACアダプタとUSB3.0ケーブルをそれぞれ接続すれば使用の準備は完了です。



【電源の投入方法】

電源ON/OFFスイッチはスライドスイッチ式です。各ケーブルを接続する前には必ず「OFF」になっていることをご確認ください。

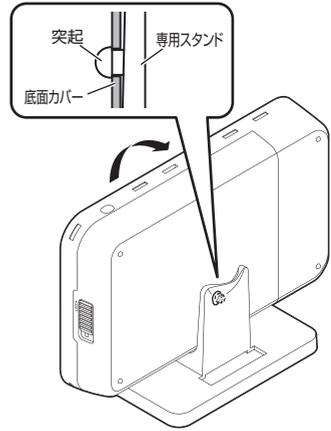
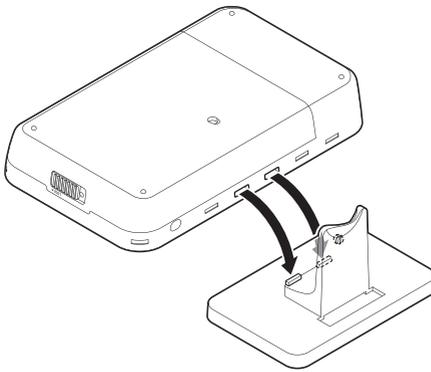


【スタンドの取り付け・取り外し方法】

〈取り付け〉

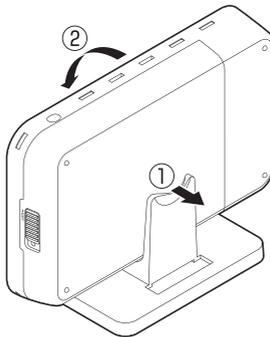
① 本体のくぼみの部分を専用スタンドの四角い突起に合わせます。

② 本体をゆっくり立てると、底面カバーの穴にスタンドの丸い突起がはまり、固定されます。



〈取り外し〉

スタンドを取り外す際は、本体とスタンドの突起を外し(①)、本体を手前に引いて(②)取り外します。



注意

スタンドの取り付け、取り外しは各突起の位置に気をつけてゆっくりと行ってください。力まかせに行くと怪我や破損の原因となります。

【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。
細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。
消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

□Windows 7、Windows Vistaの場合

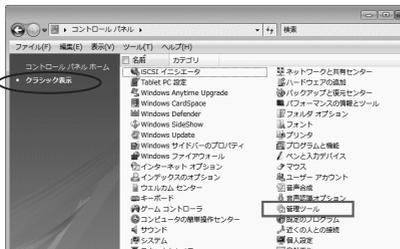
1.



【コントロールパネル】 → 【表示方法：小さいアイコン】 → 【管理ツール】 (Windows 7)

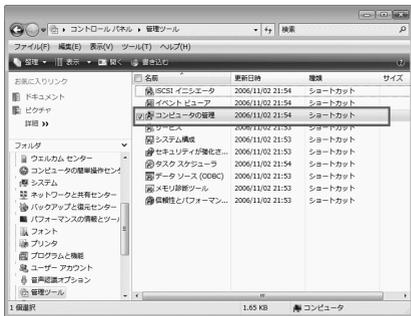


【コントロールパネル】 → 【クラシック表示】 → 【管理ツール】 (Windows Vista)



※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。

続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。

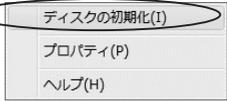
システムの管理者にご相談ください。

3.

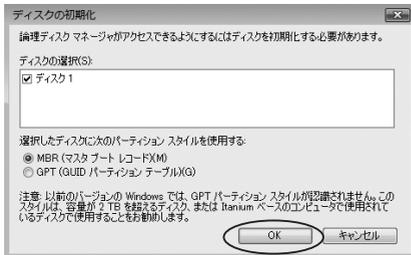


【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。



4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのないかを確認して【OK】をクリックします。

※パーティションスタイルについて
パーティションスタイルに関しては2TB以上の容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用することをおすすめします。

GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

【領域の確保とフォーマット】

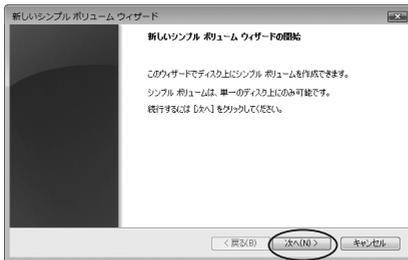
5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

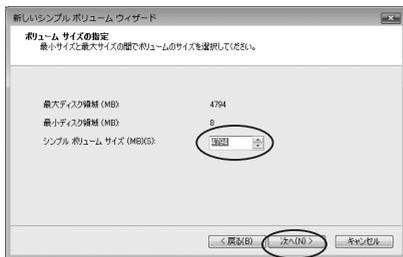
ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。設定したら【次へ】をクリックします。

8.



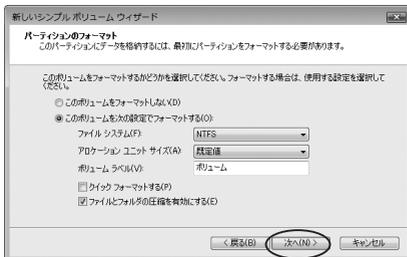
【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

- ・ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- ・アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。

- ・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- ・クイックフォーマット

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんが、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

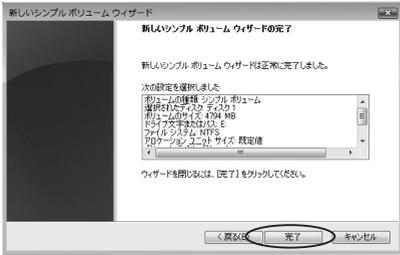
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

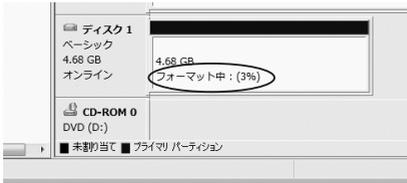
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



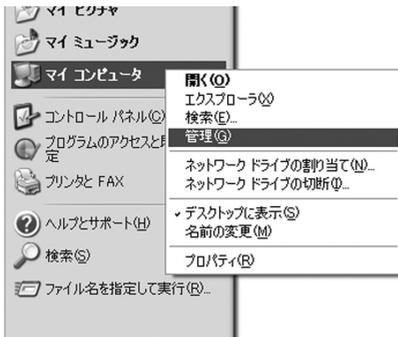
これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

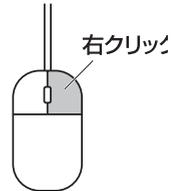
□Windows XPの場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

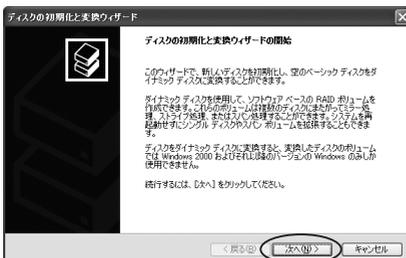
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。

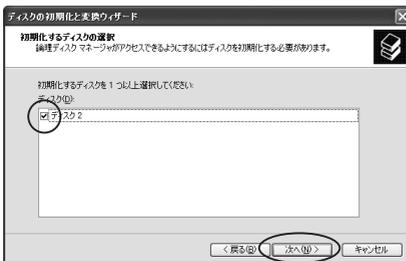


2.



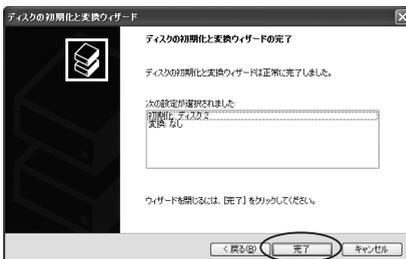
「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

3.



「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.



「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

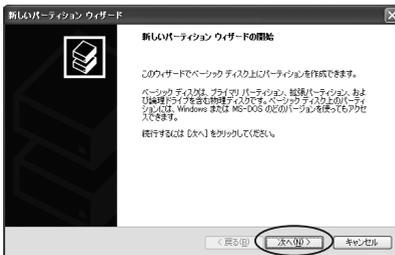
【領域の確保とフォーマット】

5.



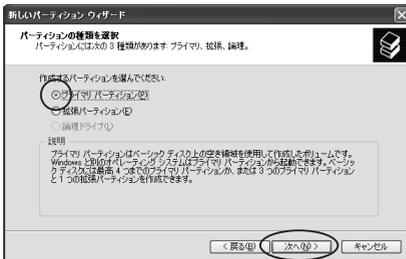
次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成 (P)...」を選択します。

6.



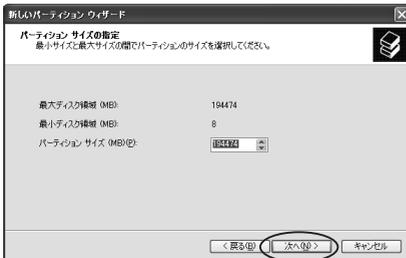
「パーティション作成ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

7.



「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※1つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

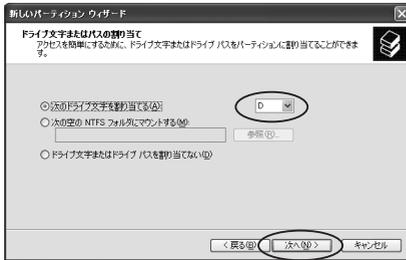
8.



「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

9.

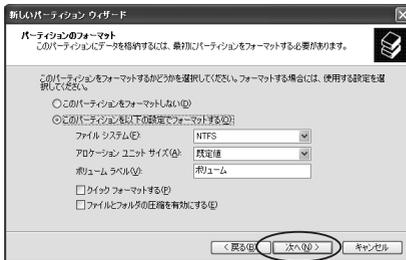


【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

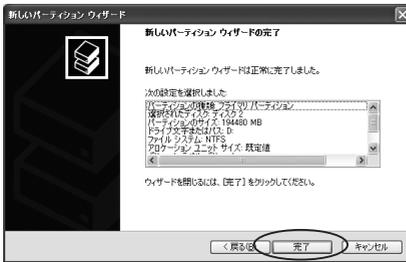
- ・使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- ・アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ・ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- ・クイックフォーマットする
このチェックボックスを入れておくとフォーマット時にクイックフォーマットを行います。以前フォーマットされていたHDDのみ使用可能です。新規のディスクはクイックフォーマットすることができません。
- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様のファイルの読み書き速度の低下を招くようです。詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

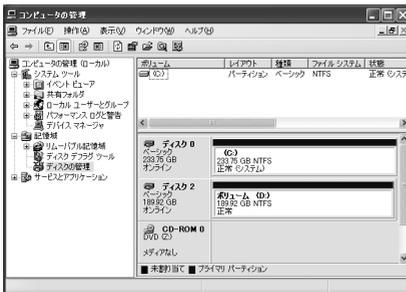
すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックして閉じます。

12.



フォーマットが開始されます。「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行っててください。

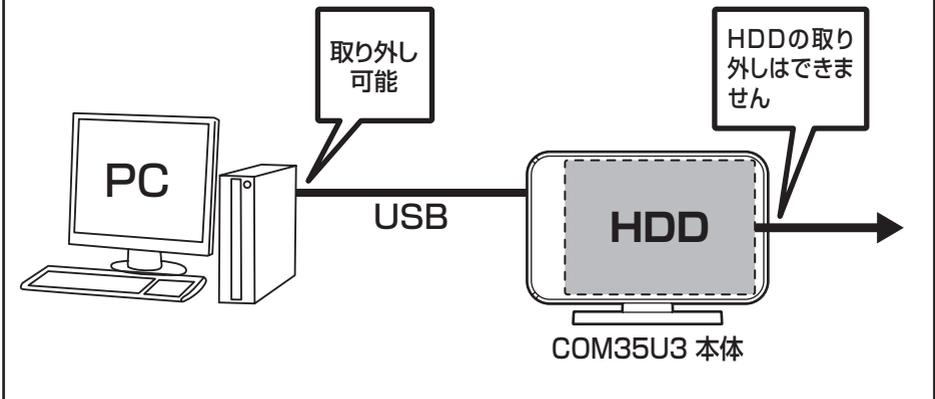


フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。フォーマット中は、コンピュータや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はPC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※この項で説明する「ハードウェアの取り外し」とは、COM35U3とPCの接続を解除するという意味で、COM35U3に接続されているHDDそのものを取り外せるという意味ではありませんので、ご注意ください。



1：本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。

取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下のように表示されます。

- Windows XP : 「USB大容量記憶装置デバイス」
- Windows Vista : 「USB大容量記憶装置」
- Windows 7 : 「USB大容量記憶装置」

2：取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。

電源を切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。

「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

以下をお試しください。

- ・ HDDが正常に差し込まれているか確認する。
- ・ 接続ケーブル、ACアダプタを確認する。
- ・ 接続LEDが点灯しているか確認する。
- ・ USB3.0ホストが正常に動作しているか確認する。

■COM35U3からOSが起動しない

OS起動はサポートしておりません。

■接続LEDが点灯してもHDDが回転している音がしない

配線が正しく接続されているかご確認ください。また、付属されたもの以外のケーブルを使用されますと、故障や事故の原因となります。必ず付属のケーブルをご使用ください。

■転送速度が遅い

USB2.0ホストに接続した場合、転送速度は最大で480Mbps（理論値）となります。

USB1.1ホストに接続した場合は12Mbps（理論値）となるため、高速な転送は行えません。あらかじめご了承ください。

■USB接続時にUSB2.0として認識してしまう

COM35U3の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

COM35U3の電源はOFFの状態でごケーブルを接続し、電源スイッチをONにしてください。

【FAQ】

Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：2TB（テラバイト）までとなります。

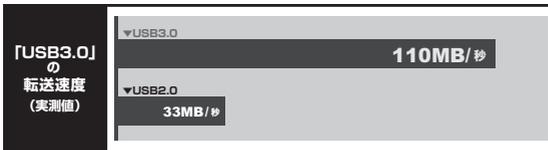
Q：HDDの着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているSATAコネクタの耐久性は約10000回となっております。HDD側のSATAコネクタにもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：USB3.0接続時の実際の転送速度は？

A：USB3.0は理論値で5Gbpsと非常に高速ですが、CPUやUSB3.0ホストの性能によって実測値は変わってきます。弊社テスト環境での実測値は下図になります。

< 1分BOX USB3.0の転送速度（実測値） >



ーテスト環境ー

- CPU : Intel Core2Duo E7500 2.93GHz
- メモリ : 2GB
- マザーボード : GIGABYTE製 EG45M-UD2H
- OS : Windows 7
- 使用HDD : WesternDigital製 WD20EADS (2TB)
- USB3.0ホスト : センチュリー CIF-USB3P2
- ベンチマークソフト : CrystalDiskMark 2.2

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市とよふたおきなはら十余二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしく願いいたします。

～弊社商品につきましてはのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチューリーおよびセンチューリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.